

令和5年12月26日

13:30～14:40

森林経営課

議事（1）種苗需給について

- 1 令和5年春期の需給実績、令和6年春期需給見通し、令和6年春期山行苗需要量見通しについて説明（内容は協議会資料参照）

（意見）

- ・ 樹苗組合の実態として、昨年度は、スギの露地苗、コンテナ苗とも不足しており、生産者と相談しながら進めたところである。
どちらも不足していたと考えるが、植栽が5～6月までかかるので、それで調整している。
- ・ R5年度においては、過不足の話は聞いていない。
- ・ 植栽する時期が長期に亘るので、1年間の結果として過不足が生じたとしても、必要な植栽時期に必要な苗木が入手できるかが重要だ。植栽する人材を確保しないといけない。
- ・ 樹苗組合のスギ苗木の生産量は、概ね年間400万本であり、露地苗が300万本、コンテナ苗が100万本であるが、ここ数年、露地苗が減りコンテナ苗が増えており、全体の量は頭打ちになっている。露地苗が30万本減ったが、その分コンテナ苗が増えたかというところではなく、全体としては減っている。
- ・ 県内生産量全体の2/3を樹苗組合が担っている。
- ・ コンテナ苗により通年植栽ができるようになったので、過去とはだいぶ状況が違ってきているが、需要者が欲しいときに苗木が入るよう、植栽する時期に合わせて生産してもらうのが理想だ。

議事（2）種苗移入承認について

- 1 令和5年春期に移入予定の種苗について承認された。
- 2 本協議会以後の移入承認申請については、各委員への書名協議とすることで承認された。

（意見）

- ・ 県外への出荷、移入については、何十年來のつきあいのある業者と取引している。

議事（3）山行苗木の価格等について

- 1 令和6年春期の山行苗木の規格及び価格について、生産者を代表して樹苗組合が情報提供
・ 改正された単価は、森林整備事業造林補助2月申請から適用される。

（意見）

- ・ 本県は、スギ単価が露地苗・コンテナ苗とも引き上げられた。九州各県においても、福岡県以外は同じく引き上げられた。

以上